

## —滋賀県坂田郡米原町醒井の場合—

## 第3報 生活スタイルと住み方

奈良女大生活環境 ○牧野 唯 今井範子

【目的】歴史的居住地域における居住者の生活の現状や要求をくみあげた住環境整備のあり方を探るため、居住来歴<sup>1)</sup>、親族関係<sup>2)</sup>、生活スタイルからみた居住スタイルに着目し、住環境意識を把握することを目的とする。第3報は、日常生活・余暇生活・地域生活に関わる生活スタイルと住戸内での住み方から居住者の生活の特徴と要求を明らかにしている。

【方法】第1報に同じ(調査期間:1994年8月下旬～9月上旬。留置法自記式, 悉皆調査, サンプル数204) 調査項目:生活スタイルに関する25項目についての実態, 住み方等。

【結果】1.住み方:居室数は平均8.7室, 敷地面積は平均98坪, 延床面積は平均54坪であり, 劣悪な住戸は少ない。家の間取りに対し, 夫婦と老親, 世代家族(家族形態別)の者が低く評価している。2.生活スタイル:地域内での生活を主とする高齢者や自営業者が比較的多いため, 日常生活では近所の人との行き来や町内会の活動が活発で, 余暇生活では地域外での余暇活動に比べ地域行事に参加する割合が高い。一方20～30代の若い世代の者で主に転入者は, 地域内での生活より家族や友人と過ごすなど個人の生活に積極的である。また醒井は交通の便が良いので若い世代の多くは長浜や京都, 名古屋へ外出しており, 生活圏が広い。購買施設の要求が日常生活の中でみられ, 家族や友人と利用できる余暇施設やスポーツ施設の充実が, 醒井近辺において望まれる。交通の便が良い上, 若い世代の者は生活圏が広く, 車が多用されるため醒井区内での駐車スペースの問題が指摘できる。

1) 家政学研究 Vol.83, pp.10-19(1995), 2) 日本家政学会関西支部第17回講演要旨集, p.3(1995).